

【京都府】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
京丹後市	海部	集落全農家出資による法人化と集落を越えた地域営農の取組	1	H28.06	1
亀岡市	亀岡	水田の活用により「京都大納言小豆」の更なる生産拡大へ	2	H28.12	2
京都市、宇治市、久御山町	巨椋池	排水機場・排水路の改修により地域の湛水被害を軽減	3	R元.12	6
福知山市	福知山	ため池の防災工事により浸水被害を軽減	4	R4.03	8
京丹後市	品田	簡易な基盤整備での耕作条件の改善による生産性の向上	5	R4.03	8

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、**集落の話し合い**や**アンケート調査を実施し、地域の農業活性化プランを策定**。
- 営農体制の強化及び意思決定の迅速化等のため、次世代の担い手となる若手農業者が中心となって、**集落全農家出資による株式会社を設立**。
- 営農面積の不足を補うため、近隣集落の農地も含めた農地の集積を行い、「集落営農」を越えた「地域営農」に取り組む。

【取組地域の概要】

- 位置 きょうたんごし
京都府京丹後市(過疎等)



- 主要作物
・水稲、黒大豆、聖護院大根 等
- 主な支援施策
・府営経営体育成基盤整備事業 (S58~H14)
・中山間地域等直接支払交付金 (H12~)
・多面的機能支払交付金 (H19~)
・農作業受託組織等法人化サポート事業 [府単] (H19)
・集落営農発展型農場づくり事業 [府単] (H24~H26)

基盤

水田の汎用化等によるコストダウンと高収益作物の導入

区画の拡大や汎用化、用水のパイプライン化により労働時間の短縮や生産コストの低減を実現し、水稲、黒大豆のブロックローテーションを確立。



整備後のほ場

基盤整備
(S58年~H14年)

【整備前】

半島地域のため**交通の便が悪い**うえ、**ほ場は狭小で、農道や水路は未整備**であったことから、小規模な稲作農業のまま進展がなく、高齢化、人口減少により担い手不足が深刻化していた。



整備前のほ場

生産現場

地域独自のブランド米や京野菜の生産

- 竹パウダー肥料を活用した特別栽培米を「竹取物語」として**独自ブランド化**。
- 水稲、黒大豆を主に聖護院大根、九条ねぎなどの京野菜の生産にも取り組む。
- **地下水水位制御システムの導入**により、冬作(大根)栽培が可能となるなど、作物の収量と品質が向上。

加工・流通

農産物の加工による販路の拡大

- 農産物加工場を整備し、乾燥野菜(切り干し大根)や漬物・惣菜を加工・販売。



JAの施設も活用し、商品製造

担い手

集落の全農家が参画する法人組織の設立

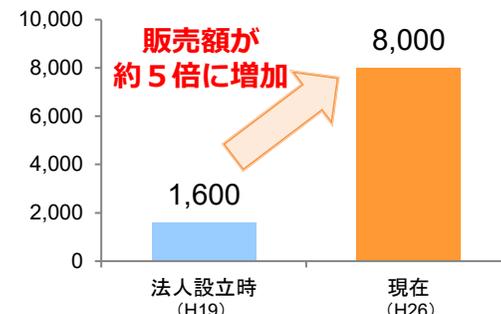
- 整備を契機とした集落の話し合いによって**活性化プランを作成**。その後、集落営農組織を設立し、**集落内全農家の出資により、株式会社として法人化**。
- 近隣集落の担い手不足などの課題を地域全体の問題として共有し、近隣集落も含めた農地集積を展開。

高収益作物の導入や加工販売への取組等による法人の販売額の増加

- 基盤整備と併せ**地域住民が主体となって作成した活性化プラン**に基づき、法人の設立や農業生産に取り組み、**販売額の増加を実現**。



海部地区の法人における販売額(万円)



注)「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。
【出典:法人からの聞き取り調査】

水田の活用により「京都大納言小豆」の更なる生産拡大へ【京都府亀岡市】

かめおかし

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- **機械播種・収穫体系の確立**により、市場価値が高いものの、これまで手刈りが主流であった**京都大納言小豆の生産を拡大**。
- **基盤整備を契機に法人を設立し**、京都大納言小豆の生産・加工・販売に係る調整も含めた**戦略的な営農を展開**。
- 地元和菓子メーカーとの連携により、京都大納言小豆を使用した**和菓子の製造・販売等の高付加価値化**にも着手。

基盤

農地の大区画化・汎用化による高収益作物への営農転換の推進

1haを標準とする区画への整備に加え、排水路や暗渠排水等の整備を通じた水田の汎用化により、**京野菜など高収益作物への営農転換を推進**。



大区画のほ場



排水路の整備

基盤整備 (H12年～H23年)

【整備前】

ほ場の区画は不整形で小さく、排水路の断面も狭小で、河川の氾濫による**湛水被害が頻繁に生じていた**ことから、効率的な営農に支障が生じていた。



不整形で狭小なほ場

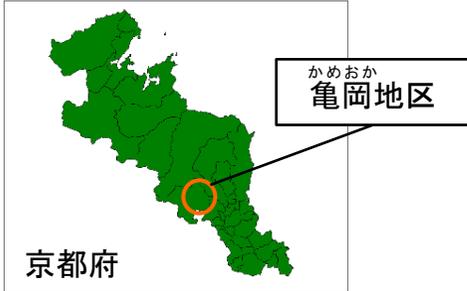


農地の湛水被害

【取組地域の概要】

かめおかし

- 位置：京都府 亀岡市 (特定農山村等)



かめおか 亀岡地区

京都府

- 主要作物
 - ・京都大納言小豆
 - ・京野菜 (エビ芋、賀茂なす、九条ねぎ) 等
- 主な支援施策
 - ・国営農地再編整備事業 (H12～H23)
 - ・多面的機能支払交付金 (H23～)
 - ・大豆・麦等生産体制確立推進事業 (H25)

生産現場

京都大納言小豆の機械播種・収穫体系の確立



京都大納言の機械収穫

- 手刈りが主流であった**京都大納言小豆**について、**機械による播種・収穫体系を確立**。
- 市場価値の高い**京都大納言小豆の作付を拡大**。

加工・流通

地元企業との連携による高付加価値化



「あずきの里」

- **地区内法人と地元和菓子メーカーとの連携**により、地区内に「あずきの里」をオープン。
- **京都大納言小豆を使用した和菓子の製造・販売や製造体験**など、高付加価値化に取り組む。

担い手

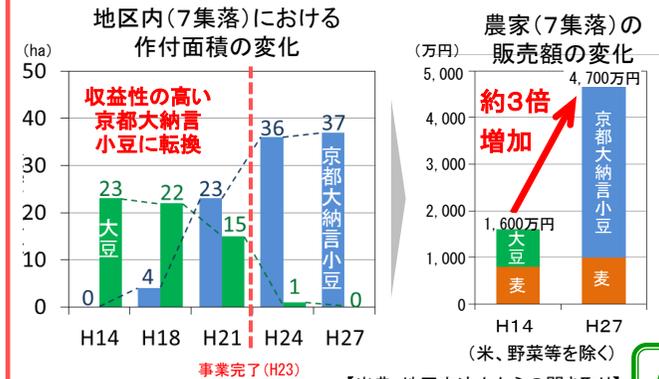
法人による戦略的な営農の展開

- 7集落の農家全戸が参加する**営農組合が、更なる生産性・収益性向上を目指し法人化**。
- 生産・加工・販売に係る調整等を行い、**戦略的な営農を展開**。

(A法人)
 ○ 設立：H25年1月
 ○ 組合員：200戸 (7集落農家全戸)
 ○ H27作付延面積：175ha (水稲、小豆、京野菜等)

京都大納言小豆への生産転換等による販売額の増加

- 京都大納言小豆の機械播種・収穫体系が確立され、作付の拡大が可能となったことから、**京都大納言小豆への生産に転換**。これと併せ、地元企業との連携による和菓子の製造・販売等にも取り組むことで、**地区内農家の販売額が増加**。



【工夫のポイント】

○ 干拓地周辺の開発により、**農地や農業用施設の湛水被害が深刻化**。

○ 巨椋池排水機場の建替に加え、導水する排水幹線等を整備し、**増強された排水能力を生かし、湛水被害を軽減し、高収益作物の生産を拡大**。

【取組地域の概要】

○ 位置 京都府京都市、宇治市、久御山町



- 主要作物
 - ・水稲、なす、九条ネギ、コマツナ等
- 主要施設
 - ・排水機場 1箇所(改修1箇所)
 - ・開水路 7.3km(受益面積1,310ha)
- 主な支援施策
 - ・国営総合農地防災事業(H9~H18)
 - ・府営農地防災事業(H16~H30)

農地や農業用施設の湛水被害を軽減

排水機場及び排水路の改修により排水能力及び流下能力の向上が図られたことにより、豪雨時の**湛水被害の発生が軽減**され、地域の安全を確保。



基盤

【整備前】

受益地は周辺地域より低い干拓地であり、**豪雨のたびに、農作物や農業用施設、公共施設に湛水被害が発生**。



基盤整備
(H9年~H30年)

安定的な農業経営の確保

○ 豪雨時においても**湛水面積が縮小**したことから、野菜や花きの**作付面積の拡大**が進み、**安定的な営農が実現**。

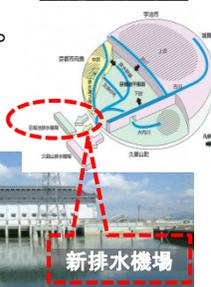


生産現場

地域の安全性向上

○ 本地区は干拓地であり、**豪雨時の強制排水が不可欠**。
○ 住宅地・道路・公共施設の湛水を防止し、**地域住民の生活安定に寄与**。

干拓地の排水のしくみ



地域の取組

湛水被害の軽減と財政健全化への貢献

○ 平成24年8月14日の豪雨においては、**日雨量約320mmの降雨があったが**、排水幹線の改修により排水機場能力が遺憾なく発揮され、**湛水被害が大幅に軽減された**。

農業関係想定被害額

復旧想定額

○ **約122億円の想定被害を軽減**。

○ 事業実施後は、20年に1度想定される規模の豪雨1回あたり**約75億円**の国費を縮減。

【整備なし】

農地・農業用施設 104億円
農業被害 約20億円

【整備あり】

農業被害 約2億円

事業費 約52億円

国負担分 104億円
(100%国庫負担を想定)
▲75億円
国負担分 29億円

【対策のポイント】

- 平成26年8月9日の台風第11号では62mm/時間、370mm/日、続く、8月15日からの8月豪雨では、**記録的短時間大雨**(約90mm/時間)を記録。
- **連日にわたる豪雨**により、市中心部を流れる一級河川由良川の水位が上昇、複数の由良川支川で**内水が排除しきれず、市街地は広く冠水**し、4,000戸以上の家屋が浸水する**甚大な被害が発生**。
- 国交省・京都府・関係市では、これまでの河川整備に加えた対策を図るとして農業分野では**支川流域のため池**(6箇所)で**洪水調節機能を付加**する防災工事を実施し、**その後の豪雨被害を回避**。

基盤

ため池の防災工事を実施

内水被害の発生



- 3か年緊急対策において、老朽ため池の改修に加えて、新たに**洪水調節や緊急放流の機能を付与**。

(堤体の嵩上げ(+0.65m等)、底樋の改修(φ300→φ800)等を実施)

対策前



対策後



防災工事
(H29~R2)

堤体の嵩上げ
(+0.65m)

底樋の改修

【取組地域の概要】

○位置 ふくちやまし
京都府福知山市

京都府

ふくちやま
福知山地区



○ 主要作物
・水稲 等

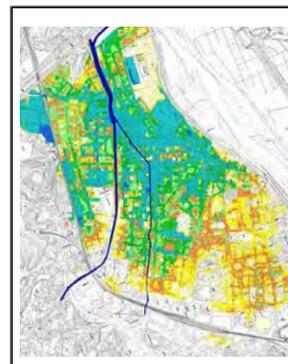
対策の効果

貯留機能付加による、浸水被害の防止

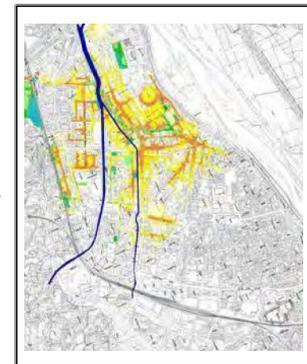
- 豪雨前のため池の事前放流は、これまで管理者への要請にとどまっていたが、防災工事を契機に、**市が確実に事前放流を行える体制を整備**。
- これにより、**一時貯留機能の効果により発揮**され、市街地における**浸水被害の防止に貢献**。

想定される被害(1/30確率降雨)

	想定被害額	浸水被害戸数
改修前	46億308万円	4,500戸 [床上:2,029戸 床下:2,471戸]
改修後	被害なし	被害なし



対策前の浸水想定図
(1/30確率)



対策後の浸水想定図
(1/30確率)

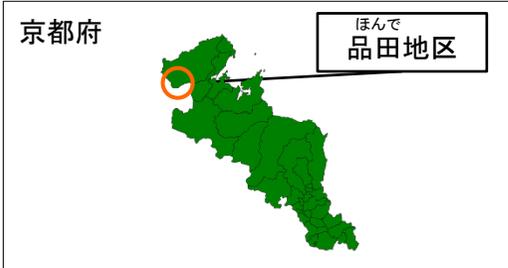
浸水深(m) 0.0~0.2 0.2~0.4 0.4~0.6 0.6~0.8 0.8~1.0 1.0~2.0

【対策のポイント】

- 事業を契機に法人への集積を促進
- 地下水制御システム導入により、**水管理を省力化、水田の汎用化を実現**
- 年間を通じた作付体系の構築により、**高収益作物の作付面積が増加**

【取組地域の概要】

○位置
きょうたんごし
京都府京丹後市



- 事業名
農地耕作条件改善事業 (H29~R1)
- 主要作物
水稲、黒大豆、加工用野菜、
聖護院大根等
- 受益面積 4.7ha
- 主要工事
暗渠排水 (FOEAS) : 4.7ha

基盤

地下水制御システム (FOEAS) の導入



基盤整備
(H29~R1)



- 暗渠排水 (FOEAS) の導入により水田の汎用化を実現

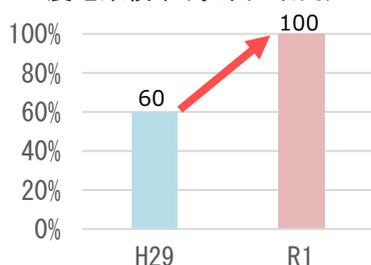
集積・集約

経営体の集積

- 事業を契機として、**7戸の個別経営体から、1つの組織経営体に集約され、営農の効率化が実現。**

担い手: (株) 誠農海部
集積率: 実施前 60%
↓
実施後 **100%**

農地集積率 (事業区域内)



農業生産性の向上

- 地下水位制御システム (FOEAS) の整備により、**京都府のブランド産品である黒大豆枝豆の作付面積が大幅増加。**
- 白菜、キャベツ及び聖護院大根などの**高収益作物の生産拡大・品質向上を実現。**

黒大豆枝豆の後に高収益作物を作付け



対策の効果

品目	項目	実施前	実施後	増加率
黒大豆枝豆	面積	7ha	11ha	157%
	収量	3.2t	3.6t	113%
冬作野菜 (加工用等)	面積	2ha	4ha	200%
	収量	41.5t	78.0t	188%